



南あわじ市

議会だより

総務建設常任委員会は3月18日に、平成27年4月に開庁予定の新庁舎の工事建設現場を視察しました。工事担当者より工事の進み具合や、新庁舎の防災対策として導入する免震装置についての説明を受けました。(18ページ参照)



▲新庁舎の完成イメージ



▲地震の揺れを吸収する免震装置を見学

工事の 進み具合を チェック



▲淡路瓦を使った日よけ材の説明を受ける

主な内容

3月定例会の結果	2～9
一般質問	10～17
委員会レポート	18～19
議会からのお知らせ	20

両市の人口、ゴミの搬入量の割合

人	南あわじ市	51.33%	洲本市	48.67%
□	(平成22年国勢調査)			
ゴミの搬入量	南あわじ市	47%	洲本市	53%

問 洲本市との分担金は、人口割から均等割になるが、今後ゴミの搬入量による従量割を導入しないのか。

答 ゴミの減量化を図り、ゆくゆくは従量割

■主な質疑

洲本市との分担金は、人口割から均等割になるが、今後ゴミの搬入量による従量割を導入しないのか。

▼洲本市・南あわじ衛生事務組合規約の一部変更

■主な質疑

3月末で清掃センター（八木寺内）が閉鎖され、やまなみ苑（広田広田）にゴミ処理が一本化されることに伴う規約と条例の一部変更。

■議決結果

賛成多数で原案可決

やまなみ苑へゴミ処理を一本化することに伴う規約などの一部改正



▲本会議1日目、中田市長から26年度施政方針が表明され、議会での予算審議がスタートした。

第53回定例会が2月25日～3月25日の会期で開かれ、市長より26年度予算を含む議案43件、人事案件など6件、議会からは意見書1件が提出され、審議しました。

主な議案の内容や質疑、採決の結果をお知らせします。

▼温水プール条例の一部改正

■主な質疑

小人扱いが、サン

■議決結果

賛成多数で原案可決

温水プール・温浴施設の使用者料の改正

「ゆとりつく」「ゆーぶる」「さんゆう館」の使用者料について各施設の実状に合わせ、利用者の利便向上の為に改正を行う。

■議決結果

賛成多数で原案可決

▼廃棄物処理手数料徴収条例の一部改正

■議決結果

賛成多数で原案可決

衛生事務組合の負担金に関する附帯決議

産業厚生常任委員会は次の附帯決議を付すことに決定した。

組合経費の負担割合については、2年を目途にごみの搬入量による従量割の導入を図りたい。

■議決結果

賛成多数で原案可決

●平成26年度予算、全15件を可決

●食の拠点施設整備工事費などの補正予算を可決

▼委員会より修正案

■修正案要旨

ゆとりつくの小人扱

■議決結果

賛成多数で原案可決

■議決結果

賛成多数で原案可決

■主な質疑

海産物をやまなみ苑へ搬入する場合はどのような扱いになるのか。

■議決結果

賛成多数で原案可決

▼温浴施設条例の一部改正

■主な質疑

さんゆう館には、老人・障害者料金が明記されているが、なぜゆと

■議決結果

賛成多数で原案可決

■議決結果

賛成多数で原案可決

■議決結果

賛成多数で原案可決

非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正

■議決結果

賛成多数で原案可決

人事案件
(順不同、敬称略)

教育委員会委員の任命

同意 岡 一秀 (志知)

固定資産評価委員会委員の選任

同意 不動 博文 (中条)

志智 宣夫 (湊)

木下 勝二 (榎列)

谷本 馨 (阿万)

人権擁護委員候補者の推薦

適任 城越 信子 (倭文)

3月定例会の日程

2月25日	定例会第1日目(施政方針表明ほか)
2月26日	〃 第2日目(議案上程ほか)
2月27日	産業厚生常任委員会(議案審査)
3月3日	定例会第3日目(一般質問--代表質問)
〃 4日	定例会第4日目(一般質問--個人質問)
〃 6日	定例会第5日目 (一般質問、追加議案上程ほか)
〃 12日	予算審査特別委員会(議案審査)
〃 13日	〃
〃 14日	〃
〃 17日	〃
〃 18日	総務建設常任委員会(議案審査)
〃 19日	産業厚生常任委員会(議案審査)
〃 25日	定例会第6日目(採決ほか)

平成26年度予算を審査

26年度一般会計・特別会計等予算(15件)

26年度一般会計・特別会計予算は「予算審査特別委員会」を設置して4日間にわたって審査しました。

審査過程で委員から出された主な意見は次のとおり。

一般会計予算

歳入

予算審査特別委員会
委員長 蛭子 智彦
副委員長 中村三千雄
委員 議長を除く
全議員

地方交付税

交付税の減額に対応

固定資産税

新築住宅に対する軽減措置について周知を行うこと。また、事業廃止に伴う軽減措置について検討が望まれる。

入湯税

源泉の維持に対しても充当できないか検討すること。

施設使用料

指定管理施設への指導監督を徹底すること。

滞納

担税能力ある滞納者への適切な指導と負担の公平を徹底すること。

コンビニ収納

周知を行い、より利便性を図ること。

国・県からの補助金

財源確保の為、より強く要望を行うこと。

歳出

市民交流センター

(2327万円)

証明書の発行だけでなく税、福祉などの相談業務も対応できないか検討すること。

臨時福祉給付金

(1億7400万円)

対象者へ周知徹底を図ること。

救急病床確保

(191万円)

小児救急

(1975万円)

それぞれ市の負担が大きく、実績や課題などの検証を行うこと。

学童保育

(5338万円)

未開設地区の開設が出来るように取り組むこと。

公用車の購入

(1550万円)

電気自動車導入の検討を行うこと。

火葬場の修繕

(680万円)

施設の老朽化が進んでいるので、修繕だけではなく改築などに積極的に取り組まれない。

市民相談

(303万円)

法律相談の回数増と出前相談などの検討を行うこと。

デマンドタクシー

(1557万円)

実績の検証を行い、より利便性を高めること。

平成26年度 南あわじ市予算

一般会計 249億7,000万円
(前年比-4.3%)

特別会計 191億6,686万3千円
(前年比+1.9%)

内訳として

- ・国民健康保険特別会計 … 65億7,216万1千円
- ・後期高齢者医療特別会計 12億4,108万9千円
- ・介護保険特別会計 … 46億7,286万円
- ・下水道事業会計 … 51億9,607万7千円
- ・他10特別会計 … 14億8,467万6千円

合計 441億3,686万3千円
(前年比-1.7%)



▲4日間行われた予算審査特別委員会

子ども子育て支援事業 (295万円)
市民の意見を十分反映して計画策定を行うこと。

生活保護者支援 (521万円)
生活保護から脱却し、自立出来るように就労支援の強化を行うこと。

食の拠点施設整備 (9005万円)
平成27年3月に完成予定の「あわじ島まるごと食の拠点施設(仮称)」のイメージ



市内事業者への影響調査を行い、市全体の活性化を図ること。

松くい虫防除 (4690万円)
更なる対策の強化を行い、被害の防止に努めること。

消防団詰め所高台移転 (500万円)
地震津波に備え高台移転の検討を協議すること。

地区公民館活動 (2088万円)
市民交流センター設置後も更に活発な活動の取り組みを行うこと。

各種団体への補助金
目的に照らし、各団体のチェックの強化を徹底すること。

特別会計

国民健康保険
剰余金などの活用で税を引き下げ、また資産割について廃業事業者への配慮と制度の検討を行うこと。
また阿那賀・伊加利診療所の医師確保を行うこと。

介護保険事業

家族介護慰労事業の周知徹底を行うこと。

産業廃棄物最終処分事業

瓦産業への更なる配慮を行うと共に他産業と瓦産業とのバランスも考えること。

ケーブルテレビ事業

加入者減少への対応

国民宿舎事業 (慶野松原荘)

地元密着型経営と放送の工夫、番組広報の強化、番組表の配布、専門職員の研修、番組審議会に女性・若者の意見を反映させること。

国民健康保険特別会計

計予算 反対 吉田良子議員

議員より修正案
一般会計の老人クラブ運営補助金を78万5千円増額する。また食の拠点施設整備工事費など9005万円を削除する。

兵庫県下で医療費が40番目、国保税は2番目で、加入者の不満の声となり、また負担が重すぎて払いたくても払えない状況が続いていることから、6月議会で税率を決める時は、国保税の引下げを求めらる。

修正理由

老人クラブ補助金は、県の行政改革によって削減されるが、市として活動を支援する為に増額すること。また、食の拠点施設事業約13億円を見直しする。

討論

●一般会計予算 賛成 柏木剛議員

討論要旨

合併10年を迎えた中、財政健全化、少子化対策、防災対策、教育面とまちづくりの更なる前進が見込める施策、

●後期高齢者医療特別会計予算 反対 吉田良子議員

討論要旨

後期高齢者医療保険料は2年に1度改正が行われ、今回は、1人当たり833円の引き上げ案で、75歳以上の

議決結果

一般会計の修正案は否決。原案は賛成多数で可決。特別会計14件は賛成多数で原案可決。

平成25年度補正予算を審査

一般会計
補正予算

■議案内容
一般会計に歳入・歳出それぞれ7億7303万6千円を追加する。

歳入

淡路人形会館改修事業の繰越明許

問 9月補正したにもかかわらず来年度に繰越する理由は。
答 協議が長引いた。安全対策も踏まえ早期に実施したい。
問 入場者への影響は。
答 休館せず、入場者には迷惑の感じられないよう人形座と調整したい。

ため池等整備事業の繰越明許

問 事業の繰越理由は。
答 5月から9月の用水期間を避け、地元と協議をしながら計画をしている為。

セーフティネット支援対策事業費補助金2000万円の減額

問 減額の理由は。
答 国庫補助金から県補助金への組み替えと生活保護費の住宅手当の減額によるもの。
問 同事業の利用状況は。
答 安心生活基盤構築事業については、社会福祉協議会へ委託。生活保護費の住宅手当については、3世帯に3か月分を支給している。

産地競争力強化総合対策事業補助金の減額

問 4000万円の繰越となっている理由は。
答 農協のライスセンターを整備する予定が国の指導により、玉ねぎの根切り葉切り機械への補助金となった。全体事業費8000万円の内、市の2分の1補助する部分が繰越になった為。

簡易耐震診断推進事業補助金9万2千円の減額

問 事業の更なる推進が必要では。
答 自己負担がネックとなっている。引き続き推進する。

農山漁村活性化プロジェクト支援交付金2億8669万7千円

問 制度の概要は。
答 食の拠点施設整備による国からの補助金。

多くの予算要望があるが、確保できた。

松くい虫防除費1750万3千円の減額理由

問 防除ヘリコプターを一機減らしたこと、阿那賀、吹上の地上散布面積が12ha減った為。
答 慶野松原では市単独事業で樹幹注入、地上防除を行っている。

新規就農総合支援事業補助金1725万円の減額

問 制度の概要は。
答 人・農地プランに基づき、4人へ支援。地元の協力がカギだが、使いやすい制度化を進めている。

らんらんバスの収入減少300万円

問 減少の要因は。
答 75歳以上の方が3割減少、停留所を増やしているが27年度に向け検討を深める。

橋梁長寿命化対策補助金1650万円の減額理由

問 交付金の組み替えによるもので、危険度の高いところから補修している。

消防費6470万円の減額理由

問 広域消防の施設建設財源をより有利なものに組み替えた為。

農林水産業費分担金749万4千円の減額理由

問 震災関連補助事業の適用により負担金の一部がいらなくなった為。

歳出

淡路交通への運賃補助339万8千円

問 補助が増加している要因は。
答 長田線など約4000万円の赤字に対し南あわじ市は339万8千円を補助、路線の現状維持を図りたい。

離島航路補助金2500万円の減額理由

問 乗客の増加により赤字が減少した。沼島は、地域おこし事業の重点地区であり、引き続き後方支援を行う。

風しん予防接種補助金の380万円の減額理由

問 当初千名を予定していたが240名の実施に。今後要因を分析したい。

南あわじ市・洲本市小中学校組合負担金1億1623万円

問 使用道は。
答 広田小学校の2期工事で太陽光発電設備の設置、特別教室において空調設備の整備などを行う。

屋外拡声器整備工事費800万円の減額理由

問 工事費の入札減の為。
答 工事費の入札減の為。

光熱水費の225万円の減額理由

問 契約先の見直しと節電、節水効果による。

議員より修正案

食の拠点施設整備工事費など8億4680

修正理由

淡路ファームパークの駐車場に産直市場、レストランなどを建設する計画であるが、周辺の民間類似施設への影響が予想され、影響調査も無いまま進めている為。

議決結果

修正案は否決。原案については賛成多数で可決。

国民健康保険特別会計

■議案内容
歳入・歳出それぞれ1億3149万5千円を追加する。

主な質疑

問 一般会計から法定外繰入をしている自治体はどれぐらいか。
答 法定外繰入は保険

修正理由

税の上昇抑制などの為に行われており、ほとんどの市町で行っている。

議決結果

賛成多数で原案可決

後期高齢者医療特別会計

■議案内容
歳入・歳出それぞれ2210万5千円を追加する。

主な質疑

問 現在の後期高齢者被保険者数と滞納者は何名か。
答 被保険者数は1月末現在で8393名、滞納者数は24年度決算ベースで107名。

議決結果

賛成多数で原案可決

福祉医療費助成条例の一部改正

■議案内容
「県母子家庭等医療費給付事業実施要綱」などの改正に伴い、改正。

主な質疑

問 母子家庭等医療費助成で、負担増の影響を受けるのは何世帯か。
答 概ね230世帯。

討論

反対 蛭子智彦議員
消費税増税により、

教育振興基本計画策定委員会条例の制定

■議案内容
教育振興基本計画を策定するに当り、有識者から幅広い意見を反映させる為、同委員会を設置する。

主な質疑

問 委員の公募はあるのか。
答 15名のうち2名程

度を公募する予定。

問 委員は、どのように選出されるのか。
答 大学関係、小中学校・保護者の代表、文化団体などから幅広く人選していく。

議決結果

賛成多数で原案可決

議決結果一覧

議長(小島 一)は表決に加わらない。(○は賛成、×は反対、-は欠席、※は退席)

Table with columns for proposer (e.g., Mayor, Councilor), proposal name, decision result, and individual councilor votes (e.g., Nakamura, Kawaguchi, etc.).

●産厚=産業厚生常任委員会 ●議運=議会運営委員会

公の施設の指定管理者の指定について(淡路ファームパークイングランドの丘)

■議案内容

同公園の指定管理者に南淡路農業公園(株)を指定する。期間は平成26年4月1日〜平成31年3月31日。

■主な質疑

問 オープンから13年が経過しており、リニューアルなどが必要であり、修繕などについて金額的な取決めはあるのか。

答 500万円までは株式会社で行い、それを超えるものについては協議という形をとっている。

■討論

賛成 原口育大議員 (株)ファームへの業務委託時に比べ、人件費

■討論要旨

賛成多数で原案可決

若人の広場公園整備工事請負変更契約の締結について

■議案内容

同公園整備工事費に3155万2200円を追加する。

■主な質疑

問 契約変更に至った要因は。 答 平成25年4月に労務単価の大幅な変更があり、積算を見直し、

■採決結果

賛成多数で原案可決

市道路線の廃止及び変更について

■議案内容

市道広田118号線・八木146号線を廃止、湊58号線を一部変更する。

■主な質疑

問 市道廃止は地元からの要望なのか。 答 そのとおり。

■採決結果

賛成多数で原案可決

国に意見書を提出 ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書

■意見書要旨

議会運営委員会から提出の意見書が、賛成多数で原案可決され、国に意見書を送付しました。

■意見書提出先

1 ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成制度を創設すること。 2 身体障害者福祉法上の肝疾患に係る障害認定の基準を緩和し、患者の実態に応じた障害者認定制度にする。 以上、自治法第99条の規定により意見書を提出する。

は、肝硬変・肝がん患者は、肝硬変・肝がん患者

衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、厚生労働大臣

一般質問

市政を問う

平成26年度の施政方針・予算案に対する総括質疑と市の一般事務に関する一般質問が行われました。

3月3日、4日、6日の3日間にわたって、14人の議員が市政を問いました。

なお、市ホームページでさんさんネットで放送した「一般質問」の番組を動画配信していますので、ご覧ください。

閲覧方法

市ホームページ → 南あわじ市議会ホームページ → 録画放送

会派代表質問

政真クラブ

川上

命議員

人口減少の問題について

問 2040年には南あわじ市の人口は3万3721人に減少、高齢化率は42.5%。このような厳しい事が予想される中で市としてどの様に考えているか。

市長 私自身も行政のトップとして非常に大きな問題である。これまで私ども、市として取り組んできた、3点ばかりあるが、100%効果があるものは無い。その一つとしては、少子対策「子供を産む環境づくり、2子目以降の幼稚園、保育の無料化」二つ目は



経済の成長政策「雇用面、教育を通して人口に結びつける。地域おこし協力隊」三つ目には経済基盤力、雇用力、産業産出力、町力、家族力。このような事を念頭に置きながら、人口対策、少子化対策に取り組んでいきたいと思う。

保育制度について

問 新年度から保育の制度が変わった。市としてどのようにに対応していくのか。

健康福祉部長 社会の変動に伴い、保護者が求める保育形態も変化している。市としては、新幼保連携型認定こども園への一本化を将来的に検討していく必要があると考えている。



▲保護者が安心して子供を預けられる場を

辰美校区の4幼稚園の統合の経過について

教育部長 最終的に津井30名、伊加利、阿那賀、丸山17名、3歳未満の保護者15名、合計62名の保護者から意見を頂いた。

今後については教育委員会では保育環境や送迎などを考慮して、よりよい統合の候補地を決定していきたいと思う。

会派代表質問

ゆづるはクラブ

原口

育大議員

市政運営全般に関する

21項目を質問

- ① 所信表明に込めた思いの変遷
② 次期総合計画の策定
③ 定住自立圏構想
④ NTT通話料金を島内3市同一にするよう働きかけてはどうか
⑤ 大学農学部のもも重要な課題と取り組むは何か
⑥ 分庁舎跡地利用と市民交流センターの準備状況
⑦ スマートウェルネスステイ
⑧ コミバスについて
⑨ ふるさと納税
⑩ 寄附者が指定したまちづくり協議会
⑪ 危機管理部設置と要支援者情報提供に関する条例制定
⑫ 自主防災組織への備品補助の拡充
⑬ 消防資機材補助の限度額1品15万円の見直し
⑭ 空き家廃屋の実態調査
⑮ 国保税の資産割見直しについて
⑯ 社会保障改革での持続可能な制度改革の正は必要。改革の痛みに対しては、都市部に比べ有利に対応できるはず
⑰ 食の拠点整備事業の課題と取り組み状況は
⑱ 農地・水事業の見直しと方向性は
⑲ 田んぼダムへの啓発
⑳ 田んぼダムへの啓発
㉑ 体育館の水銀灯は、一度電源が切れると時間をあけないと再点灯できない。避難所としての利用・電灯の寿命や消費電力など維持管理経費を勘案すると、早期にLED化するべきである
㉒ 体育館の水銀灯は、一度電源が切れると時間をあけないと再点灯できない。避難所としての利用・電灯の寿命や消費電力など維持管理経費を勘案すると、早期にLED化するべきである



▲スマートウェルネスステイで旧町中心部の活性化を

会派代表質問

市民連合・無所属クラブ

印部

久信議員

合併後の人口推移について

問 合併後、人口が4000人余減少しているとのことであるが過疎化が進行するにつれ企業活動の停滞、保育園・小学校の統廃合、資産デフレが進行するが市内の状況は。

市長 新しく用地造成は冒険であると思う。当面は市有地の活用で思い切った対応をする。

合併後の人口推移について

問 高齢化率の推移は。市民生活部長 平成17年1月25・3%、26年1月末で30・01%。

健康福祉部長 2010年南あわじ市171%、洲本市1・67%、淡路市1・37%、兵庫県1・41%、全国1・39%。人口が減少しているにもかかわらず



▲未売却地が残り2区画となった企業団地（榎列上幡多）

市長 早急に対応する。

バランスの良い 地域振興策をもっと

松くい虫対策を もっと強力に。 市長 慶野松原の松 くい虫対策は重要。 ヘリコプター防除も 含め、もっと効果的 な方法がないか、検 討を深めたい。



▲廃校となった津井小学校の今

分庁舎廃止は防 災対策の後退になる のでは。 もっと機動 的、迅速な機能の維 持を。 総務部長 本庁舎か ら距離が延び、現場 確認や初動時にどう 迅速に対応していく かといった課題があ ることは事実。

機動的・迅速的な 機能が失われること のないよう、しっか りと対応していきたい。 兵庫県津波浸水 想定図もふまえ、避 難路整備など防災・ 減災対策を計画的・ 総合的に推進する。

機能的・迅速的な 機能が失われること のないよう、しっか りと対応していきたい。 兵庫県津波浸水 想定図もふまえ、避 難路整備など防災・ 減災対策を計画的・ 総合的に推進する。



津井小学校の跡 地利用を早急に。 その他、市民生活 と福祉向上を求めて の質問を行った。

合併後の人口減少と 対策と実績について

市民生活部長 合併 後の旧町別の人口減 少率は緑町1.4%減、 西淡町10.9%減、三 原町4.2%減、南淡 町12%減で合計44 60人で8.1%の減 になっている。



▲安心して通行できる道路を

市長 少しは人口減 に歯止めがかかった のではと感じますが。 今後も少子対策や企 業誘致として老人施 設の整備を進め、雇 用の場を作る。

特に落ち込みが ひどい旧西淡、旧南 淡について地域格差 を無くす様、市政運 営をして頂きたい。



また、高速バスの 利便性の向上を目指 して四国からの乗客 が市内で降りられる 方法対策は。 市長 淡路の市長会 で実現出来る様、提 案する。

農政改革(農林水産省)について

寺内清掃センター について

跡地利用の方針は。 市民生活部長 地元 の意向を十分くみ、 今後の利用を考えて いきたい。

下水道について

八木地区の工事 予定は。 下水道部長 残って いる上八木、寺内、立 石、大久保と、順次平 成30年を目途に実施。

食の拠点について

進捗状況は。 農業振興部長 実施 設計、測量調査中。



農政改革について

4つの改革が国 から示された。南あ わじ市はそれを受け、 どのような農政方針 を示す考えか。 市長 今回の農政改革 は本当にやる気のある 人、しんどくてもやれ ばやるだけ自分の所得 向上につながる政策に 変わってきた。農業も 競争をもとにした経済 社会に舵を切られたと 思う。南あわじ市がいかに特色を持ってプラ ンド化し、後継者も汗 をかいただけ、手元に 入る。それを早く確立 していかなければならぬ。

大規模集客施設の計 画書を県に提出済。 審査後、建築確認 申請し、入札予定の 5月下旬を目途に確 認済証の交付を受け るべく進めている。 重要水防箇所に なっている養宜川改 修は養宜100年の 計、後世に遺恨を残 さないよう実現を強 く要望しているが。 農業振興部長 食の 拠点整備の関係、ほ 場整備の関係で、こ の機会を逃したら改 修は難しい。強く県 に要望している。

保育料の軽減と 正規職員の採用を

保育料は子ども の年齢、保護者の納 める税額で決められ るが、納税額が2.5 倍と大きく差がある のにもかかわらず同 じ保育料は、見直す 必要があるのではな いか。

健康福祉部長 2倍 以上あるが、このま までお願したい。

所得の低い人の 保育料の負担が大き いが見直しをすべき ではないか。

健康福祉部長 国と 同等の基準額で負担 をお願したい。 正規保育士と臨

正規保育士と臨

また、高速バスの 利便性の向上を目指 して四国からの乗客 が市内で降りられる 方法対策は。 市長 淡路の市長会 で実現出来る様、提 案する。



また、高速バスの 利便性の向上を目指 して四国からの乗客 が市内で降りられる 方法対策は。 市長 淡路の市長会 で実現出来る様、提 案する。



▲市内各保育所で行われた卒園式

時保育士の人数 は。 健康福祉部長 正規は63名、 臨時などが11 7名。 臨時でクラ ス担任を持って いる保育士がいる。 正規保育士を採用し 改善をすべきではな いか。 川野副市長 配置す るという約束はでき ない。 特別養護老人ホーム の待機者の解消を 目指している。 介護保険料の見 直しについて。 健康福祉部長 低所 得者の負担軽減を行 う予定である。 特別養護老人ホー ムの待機者の人数は。 健康福祉部長 入所 の必要性の高い方が 161人。 待機者対策はど うなっているのか。 健康福祉部長 1か 所29名で2カ所で計 画。その後、津井小 学校跡地で計画中。 らんらんバスの運行 料金の見直しを 目指している。 らんらんバスの 運行・料金見直しに ついて。 市長公室長 料金、 ルートの見直しを新 庁舎建設にあわせて 行う。

防災対策について



問 消防団の訓練施設の概要について。
総務部長 消防団の規模は横幅23m、長さ100m、2300平方メートルで透水性のアスファルト舗装で整備、照明2基、水源については中央庁舎前の井戸水を訓練用水源とした。
消防器具倉庫を設置し、工事については県土木土木事務所河川課と協議は終了し、3月、間もなく入札発注の予定。
問 南海地震などの対策とし、倒壊家屋などの人命救助活動に必要な資機材を福



▲消防団の役割は極めて大きい

良・沼島地区などに配備出来ないか。
総務部長 阪神淡路大震災時、自力脱出困難者の77%の方は近隣住民地元消防団で救助された報告があり、初期の活動が大事である。
市民の安全安心の為、消防団の機能強化、救助資機材などの整備も十分検討していきたい。
問 当市も人口減少傾向にあり、消防団員の確保も厳しい状況化をふまえ、団の機構改革が必要ではないか。
総務部長 庁舎、分庁舎などが再編、消防団内部においても方面隊をどう再編するのか、非常に大きな課題であり、また、団員の確保も難しい。

問 来年1月17日、阪神淡路大震災から20年の説目を迎えるにあたり大規模な総合防災訓練を計画しては。
総務部長 阪神淡路大震災から20年と言うことで県も防災訓練を計画予定しているように、市も県の動きの中で検討したい。

施政方針について



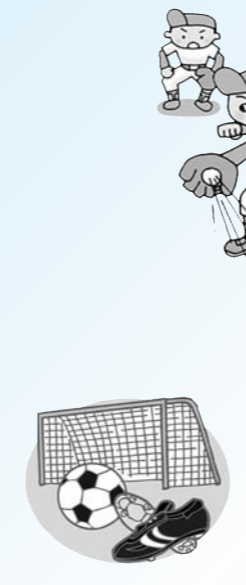
問 国は減反政策の廃止を。影響は。
農業振興部長 連作障害を防ぐ方向で作付け出来る米粉・加工・飼料米などで影響はない。
問 食の拠点施設のコンセプトは。
農業振興部長 三つある。農業者の高齢化の中で生産すれば売場の整備・農業と観光の融合による6次化・淡路の農作物のファンづくり。
問 公費を使って大型スーパーが増える。そんな懸念はないか。
矢谷副市長 公費を使って民業圧迫では

ないかとの趣旨だと思ふ。既存の他の施設にない役割を担ってもらおう。
問 南海トラフ巨大地震の発生が予想され、その危険度が高まり、対策が急がれる。津波の被害が想定される地域は、高台へ生活拠点を移せばいいが、そうもいかない。巨大地震の恐怖が日々高まる中、資産価値も低下ぎみで、せめて税の優遇措置は考えられないか。
市民生活部長 津波被害の想定を理由とした軽減措置はない。
問 税率、市の裁量の余地はあるのか。
市民生活部長 裁量の余地は有るようだが、補填は出来ない現実がある。
問 津波危険地域に住む住民の願いでもある。
市民生活部長 税率(1.4%)を下げることは今、想定していない。
問 市長判断で税率引き下げが可能だが、考える余地は。
市長 今まで考えたことがない。



▲早急な津波対策が求められる。

スポーツ振興について



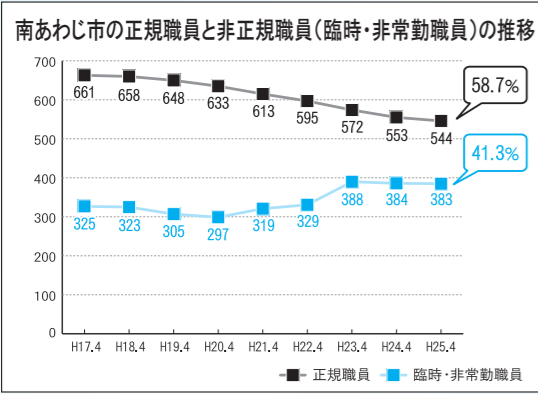
問 スポーツ基本法成立に伴う市の取り組みについて。
教育部長 南あわじ市においてはスポーツ推進委員会が中心となっており、市民誰もが親しめるスポーツ活動に取り組んでいる。
具体的にはニュースポーツそして障害のある方に対してはシッティングバレー、ブラインドサッカーなどの体験教室、中学校の武道などの必修化に伴うものとして剣道。
今後についても誰もがスポーツする権利、そして楽しむ権利を明確にする。そして自治体としてそれを保障していく責任を負うものと思っている。
問 スポーツクラブ補助金均等割9万円は不公平ではないか。
教育部長 個々の内容の具体的な記載に基づいて、補助金額を決定している。
本格的なサッカー場建設について
市長 24年11月サッカー協会会長を始め関係する多くの署名を持って何とかサッカー場建設をという強い要望を受けた。旧西淡は昔からサッカーが盛んで日本を代表する選手も出しており、最近では淡路選手権でクラブチームが現役の高校チームを破り優勝しており、非常にサッカーの歴史のある町であるので、具体的な場所の要望もあるが、財源なども考慮しながら前向きに取り組んでみたいと思う。

非正規保育士の問題について



問 この度の非正規職員の募集、恒常的な職務である幼稚園教諭や保育士は、嘱託職員として採用すべきでは。
川野副市長 本市は、低年齢児をはじめ、多様な子どもたちを受け入れており、マニッサーマンで保育にあたるケースや、一時的な需要に 대응する必要がある、今回は臨時職員とした。
問 保育士の配置基準は。
健康福祉部長 0歳児は3名につき保育士1名以上、1・2歳児は6名、3歳児

は20名、4・5歳児は30名につき1名以上が基本だ。
問 この配置基準は、正規職員を前提としているのでは。
健康福祉部長 国家資格を持った者であれば、正規・非正規の関わらないと認識している。
問 保育所の人事異動の基準は。
健康福祉部長 4年サイクルを基本としている。
問 異動の希望は聞いているのか。
健康福祉部長 希望も配慮した人事異動をしているつもりだ。
問 住民ニーズが多様化し、



市民連合・無所属クラブ 長船 吉博 議員

施政方針について

行って楽しい 交流・感動の 舞台

問 部長は交流 人口を増やす目 的である『みな とオアシス』福 良で、何の音沙 汰がない。



▲「淡路花博2015花みどりフェア」が 2015年3～5月に開催。

産業振興部長 進んでいない反省 し、取り組む。

問 『花みどりフェア』 の集客予想は。 市長公室長 300 万人。

問 公共施設のトイ レを洋式・ウオシ ャレットと消毒液を早 急に。



問 地元のハモが食 べれん、夏の観光の 大打撃になる。 産業振興部長 その 様な事にならない様

問 農業に比べて漁 業の支援が少ないの はなぜ。 矢谷副市長 確かに 農業の方が支援が厚 い。歴史的なものか な。

問 漁業に絶大なる 支援をお願いします。

とにかく命が一番

問 災害は起きても 人災を起こさない為 に防災学習を。

教育部長 年に何回 も防災学習をしてい きたい。

問 新1年生が学童 保育を断られた。大 変なんです。

健康福祉部長 ある 程度、配慮している。

問 市民あつての行 政。市民あつての政 治。その旨、心に置 いて頑張ってください。

公明党 熊田 司 議員

学校図書、図書館の 充実を望む

問 市長は施政方針 で「図書の実にも 努める」とあるが、 具体的な取り組みは。

教育部長 図書購入 費の維持、西淡・緑 の図書室の蔵書の増 加、ブックスタート・ 読書つ子祭り、ハー ド面では、閲覧コー ナーの充実、記述ス ペースの整備などを 行っている。

問 学校図書室の利 用促進についての26 年度の取り組みは。

教育部長 図書ボラ ンティアによる読み 聞かせ、市教委の学 校支援ボランティア

の活用、家庭 における子供 の読書活動の 推進を図りた い。



▲図書館の充実を（三原図書館）

市民が利用しやすい 地域包括ケアシステ ムの構築を望む

問 疾病を抱えても 住み慣れた場で生活 していくためには、 医療機関との連携が 重要ではないか。

健康福祉部長 病院 と地域との切れ目の ないサービスの充実 を目指して進めてい る。

問 元気な高齢者の 社会参加についての 当市の取り組みは。

健康福祉部長 地域

人口減少・ 少子化に向けた 取り組みを

問 今後の定住化促 進の取り組みは。

市長公室長 ①少子 対策の継続・拡充② 経済活性化策③地域 力の強化で定住化の 促進を図っていく。

介護保険について

問 人口減少、少子 高齢化社会という情 勢の中、伸びる社会 保障費に対応する為、 国は消費税引き上げ を中心とした、社会 保障と税の一体改革 により、年金・医療・ 介護・子育てなど、 社会保障の構築を目 指している。

本市の介護保険へ の対応は、保険料が 全国・県下の平均額、 制度の運用もしっか りやっているし、総 ての関係者が真摯に 取り組んでおり、満 足している。

しかし、国の改革 で自己負担一割から



二割は重く、年収額 をいくら以上にする のか注目している。 また、施設サービ スにおける特養の不 足が大きな問題であ る。施策をお聞きし たい。

健康福祉部長 高齢 者の増加に伴う給付 費の増大、地域包括 ケアシステムにおけ る在宅での生 活の手助け、 介護に至るま での予防施策 などをも、今後 やっていくと ともに、国の 制度を注視し ながら、適切 な対応をして いく。

施設サービ ス面では、特 養への入所希

望者が多く、入所が 必要な待機者が16 1名いる。 これの整備につい ては、今年度中に地 域密着型の特養を2 カ所設置、また、26 年度からの第6期計 画では、旧津井小学 校跡に、特養を中心 とした施設を設置し て、福祉の里公園を 作ります。

特別養護老人ホームの不足が大きな問題

無所属 登里 伸一 議員

議会活動日誌

1月 1月3月の議会の活動状 況について次のとおり報告し ます。

1月

5日 消防団初出式(正副議長、 総務委員)

6日 友路会新年語り初め会 及び懇親会(議長、産厚 委員)

6日 仕事始め式(正副議長、 議事運営委員、各常任委員 長)

9日 議会広報広聴常任委員会 成人式(正副議長、産厚 委員)

12日 議会広報広聴常任委員会 産厚厚生常任委員会

15日 議会広報広聴常任委員会 総務建設常任委員会

16日 議会広報広聴常任委員会 高知県安芸市議会協議会 運営委員会視察受入(議 長、議運正副委員長、広 報正副委員長)

20日 淡路瓦工業組合講演会 並びに新年互例会(議長、 産厚委員)

21日 術科始め式(議長)

22日 淡路精神保健福祉大会 (議長)

23日 東播・淡路市議会議長会 定例会(正副議長)

24日 商工会法人部会新年互 例会(副議長、産厚委員 長)

26日 水産まつり(議長、産厚 委員)

2月

28日 議員研修会(全議員)

29日 遺族会新年研修会(議長)

30日 淡路政経懇話会新春特 別例会(議長)

31日 兵庫県町議会議員公務 災害補償組合会計監査 (議長)

2日 B&G会長杯全淡柔道 大会(議長)

3日 洲本市南あわじ市衛生 事務組合議会定例会

4日 全国市議会議員共済会 代議員会(議長)

5日 全国難島振興市町村議 会議長会総会(議長)

5日 議会広報広聴常 任委員会視察研修

8日 子ども伝統芸能発表会 (全議員)

10日 淡路広域団体協議会議 協議会(正副議長、総建 委員)

12日 淡路地域正副議長会定 例会(正副議長)

12日 産厚厚生常任委員会

13日 兵庫県市議会議長会総 会(正副議長)

16日 兵庫県市議会議長会総 会(正副議長)

17日 三原ミニバスケットボー ル(議長)

18日 三原ミニバスケットボー ル教室交歓大会(副議長)

18日 総務建設常任委員会 議会運営委員会

3月

28日 淡路政経懇話会2月例 会

1日 スポーツ賞表彰式(議長、 産厚委員)

2日 少年野球春季大会(議長)

3日 議会定例会(第3日目)

4日 議会定例会(第4日目)

6日 議会定例会(第5日目)

12日 予算審査特別委員会

13日 予算審査特別委員会

14日 予算審査特別委員会

15日 高齢者大学うずしお学 園修了式(議長)

16日 うずしおまつり、桜鯛ま つり(正副議長、産厚委 員)

うず潮を世界遺産にす る淡路島民の会発足会 (正副議長、産厚委員)

17日 予算審査特別委員会

18日 総務建設常任委員会

19日 産厚厚生常任委員会

22日 老人大学ちどり学園修 了式(副議長)

25日 松帆保育園卒園式(副議 長、産厚副委員長)

26日 議会定例会(第6日目)

南海トラフ巨大地震 対策は？

総務建設常任委員会

■1月17日の委員会

問 昨年末に発表された南海トラフ巨大地震の津波想定を受けてどのような対応を考えているか。

答 まだ詳細な数値データが届いていないので、現状でのハザードマップ作成は難しい。県へ早急な対応を強く求めたところ。3月にはデータがいただけることになっていくのでその後の対応の準備を進めている。

■2月17日の委員会

問 残土搬出など追加の対応があったがほぼ行程通りに進んでいる。他に夫婦別姓制度、地域おこし協力隊、空き家対策などについて質疑があった。

答 3月末に予定されている津波想定データの発表は間違いないか。

答 出してもらえるとの認識。

問 専門家などを交えての対応、ハザードマップの準備は。

答 防災会議で専門家の意見を反映して作成したい。

問 消防団員の確保は。

答 現在2190名の団員、合併当初は2226人、維持できている。

問 新庁舎建設の進捗具合は。

答 平成27年4園統合、辰美中学校跡地でのことであつたが場所の問題で再度協議中。

食の拠点施設の 計画は？

産業厚生常任委員会

■1月15日の委員会

問 食の拠点について実施設計の入札を行ったようだが。

答 業者を決定し、進めている。農協には前向きな返事を頂いている。

問 辰美中学4地区の幼稚園の合併は。

答 今後、検討する。

問 図書館の再編計画が遅れているが。

答 27年度中に南淡図書館を南あわじ図書館に、三原図書館を分館



▲「鳴門うずしお大使」らが初めて出席した「淡路島びらき」



▲鳴門市との共通のロゴマーク

に、西淡公民館、緑公民館を図書室にと考えている。

問 淡路人形会館入口の改修工事の状況は。

答 9月補正で認められたが、国・県などと協議中。早急に対応する。

問 ハッピーマジックの会での成婚は9組、おたすけ隊での成婚は7組。

問 2月12日の委員会

問 サッカー場の整備について。

答 7100平方メートル程度の人工芝施設を検討している。

問 婚活事業の成果について。

各委員会では、議会閉会中も調査活動などを行っています。
1月～2月の議会閉会中に行われた委員会の調査概要を報告します。詳細は、市ホームページに委員会録を掲載していますので、ご利用ください。

レポート

ケーブルテレビを利用した 議会広報番組を調査

議会広報広聴常任委員会

▼視察の概要

2月5日～6日

▽視察先
岡山県井原市議会
香川県さぬき市議会

本委員会と情報課職員で「議会広報番組」などを行っている先進地の視察を行った。市民からも「ケーブルテレビで議会中継を生放送で行ってほしい」などの声もあり、すでに放送している市を訪問した。

は44年の歴史があり、第3セクターで運営している。議会放送は、始めは録画放送であったが、生放送に切り替えた。放送は字幕を使い、臨場感があるものであった。またテレビを通じて議会を気軽に傍聴できることから市民の関心がより広がったとの説明を受けた。

そして今回の視察の様子を撮影されその日の夕方のニュースに放送されているなど、スピード感をもった対応に感心した。さらにケーブルテレビ放送の番組表を全戸配布しており、市民サービスも高かった。

▽視察目的

①本会議のケーブルテレビ生中継について

②議会広報番組について

●井原市議会
ケーブルテレビ運営

●さぬき市議会
平成14年のさぬき市

そこが 知りたい 委員会調査

合併以前より本議会の生中継を行っている。またニュース番組で議会の委員の様子も放送しており、市民の反応も良い。

市議会として本議会でも誰もが気軽に議会を見られるように議会の生中継などを行い、市民にとって身近なものにしていく努力を急いで進める必要性を感じた。



▲さぬき市議会では、議会広報番組を視聴

第54回南あわじ市議会定例会日程（6月）

◆開会はすべて午前10時～

	会議日	会議内容（予定）
第1日	6月9日(月)	1. 条例案上程（説明、質疑、委員会付託） 2. 平成26年度補正予算案上程（説明、質疑、委員会付託） 3. その他の案件上程（説明、質疑、委員会付託）
第2日	6月13日(金)	1. 一般質問
第3日	6月16日(月)	1. 一般質問
第4日	6月17日(火)	1. 一般質問 2. 追加議案上程（説明、質疑、委員会付託）
予備日	6月18日(水)	
第5日	6月25日(水)	1. 追加議案上程（説明、質疑、討論、表決） 2. 付託案件委員会審査報告（質疑、討論、表決）



	会議日	会議内容
委員会	6月20日(金)	総務建設常任委員会
	6月23日(月)	産業厚生常任委員会

情報公開

25年度分 実績報告

『議長交際費』と『政務活動費』

●議長交際費

議長交際費とは、議長が議会を代表して出席する対外的行事に対して支出している経費です。25年度支出内容は下表のとおりです。（25年度予算計上額70万円）

市ホームページには、支出基準などの解説を加えて、ひと月ごとに公開しています。

議長交際費支出報告（平成25年度）

摘要	件数	支出額（円）	
祝金	8	70,000	
見舞金	0	0	
弔慰	香料	8	70,000
	供花	10	53,500
賛助会費	0	0	
その他	8	64,000	
その他（視察時土産代）	6	24,000	
合計	40	281,500	

●政務活動費

政務活動費は、議会の活性化と政策立案能力の充実強化を図るため、議員の調査研究に必要な費用の一部を会派に対し交付するものです。

交付金額は、議員1人あたり年間15万円（月額12,500円×12カ月）として、会派に交付しています。交付申請のない会派には交付していません。

25年度（12月～3月）の実績報告として各会派から提出があった実績報告書は、閲覧用として整え、5月12日（月）から議会事務局に設置します。どなたでもご自由に閲覧できます。

また、概略版を市ホームページ（5月12日から）と議会だより（7月31日発行分）で掲載します。

問 議会事務局 ☎43-5005

編集後記

▽3月議会では、新年度予算を審議する予算審査特別委員会を4日間行い、いろんな分野からの質問、提案がありました。紙面の都合で一部の掲載になっていません。議会として今後、議員の提案が市政にどう反映されるかどうかチェックしていくこととなります。

▽1月28日に野村證券㈱主任研究員 和田理都子氏を迎えて議員研修会が行われました。テーマは「地域多様性が生み出す21世紀日本の活力」都市を測る、都市を生かす。淡路島を中心に、人口減少の中で住みやすいまちづくりをどう進めるのか、これからのまちづくりについて改めて議員の役割を感じたものになりました。

（吉田）